

長銀マンから見た日本経済史



竹内 宏氏

竹内宏氏

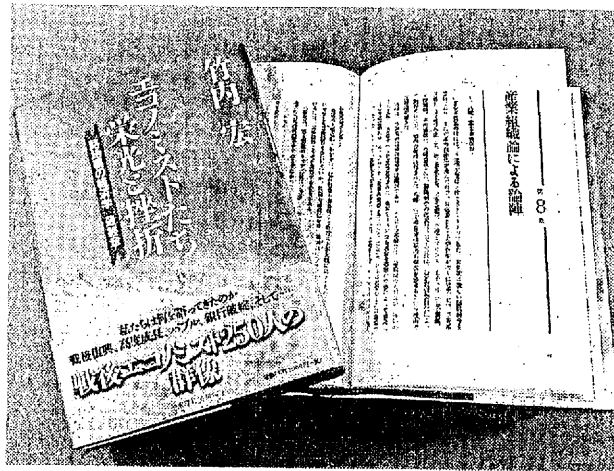
(経済評論家・本紙客員論説委員) 執筆

経済評論家、竹内宏氏「路地裏」という表現で刊行(本紙客員論説委員)がしてきた「路地裏の経済学」シリーズの十作目。光と挫折、路地裏の経済学最終章(四六判、三百五十頁)、東洋経済新報社)写真IIを発行した。

戦後復興、高度成長、バブル経済、銀行破たんが続いた日本経済を「夢が広がる」「新しい世界を開く」「頂上に着いた」「下り坂で頑張る」など七期に分類。それぞれの時代に国内外のエコノミストが何を、どう語ったかをまとめた。

竹内氏は日本長期信用銀行専務・調査部長、長

「路地裏の経済学」10作目



銀総合研究所理事長などを経て現在、静岡総合研究機構理事長などを務めている。長銀エコノミスト

トの歴史もたどりながら自分たちの調査がどう、時代をリードしたかを検証するとともに、エコノミストの見識に触れた。

長銀調査部
・長銀総研史
なども掲載し

政治経済

しずおか